4　各職におけるキャリアステージに応じた研修計画

(1) 教諭

ア　基礎形成期

指標			校内研修	校外研修
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している ・教員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている ・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている	・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して自分の意見を伝える ・校務分掌の部会等で、自分の担当する職務について、指導を受けながら校務に参画する	・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的･意欲的に研修に取り組む ・家庭や地域との連携や学校安全に関する基礎・基本を身に付ける ＜研修例＞ ・初任者研修講座 ・初期研修講座 ・ＮＩＴＳ研修講座
	コミュニケーション能力	・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている ・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている ・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている		
	マネジメント	・学校及び教職の意義を理解し、組織の一員として果たすべき役割を十分理解して職務を遂行することができる		
	連携・協働	・家庭や地域に対して、学級の経営方針等を説明し、理解と協力を得ることができる ・家庭や地域の協力のもと教育活動を効果的に進めることができる		
	危機管理	・学校安全に関する基礎的な知識を有し、事象発生時には正しい手順で対応することができる ・未然防止のための身の回りの安全点検を確実に行うことができる		

指標			校内研修	校外研修
学習指導	各教科等の専門的知識	・各教科等の特質に応じ、資質・能力をはぐくむために必要となる専門的知識を身に付けている	・日常的に他の教員の授業を参観する ・各学年や教科担当等で研修・研究に関するテーマを相談したり、協議したりする ・主体的に研究授業等に取り組む ・学習指導要領に基づいて学習指導案を作成し、他の教員の指導・助言を受ける	・基礎的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を身に付ける ・専門的知識、授業力を身に付ける ＜研修例＞ ・初任者研修講座 ・初期研修講座 ・教科等専門研修講座 ・ちょっと学びタイム研修講座 ・ＮＩＴＳ研修講座
	授業設計	・学習指導要領の内容やカリキュラム・マネジメントの考え方に基づいて授業を設計することができる		
	授業実践	・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業実践を目指すとともに、基礎的な知識・技能の定着とそれらを活用する力を培う児童生徒中心の授業を実践することができる ・児童生徒の実態に応じた教材研究を行い、主体的に研究授業等に取り組むことができる		
	評価・改善	・児童生徒の反応や理解度等の学習状況から自己の授業を評価し、研究授業等の機会を通して、指導技術等の改善に取り組むことができる		
生徒指導	児童生徒理解に基づく集団づくり	・児童生徒一人一人の言動や心の動きからその児童生徒の置かれている現状を理解し、児童生徒と積極的に向き合うことができる ・児童生徒一人一人が自己存在感を実感し、相互の多様性を認め合い安心できる学級づくりを行うことができる	・管理職や主任等による研修や指導・助言を受ける ・学年会議等で児童生徒の様子や学級経営等について相談したり、協議したりする ・外部機関との連携の在り方について知る	・生徒指導やキャリア教育、教育相談等の基礎・基本を身に付ける ＜研修例＞ ・初任者研修講座 ・初期研修講座 ・課題別研修講座 ・ＮＩＴＳ研修講座
	指導	・全ての児童生徒が自発的・主体的に成長や発達をしていく過程を支える視点を理解している ・深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、他の教職員からの助言・支援を得ながら事象に対応することができる		

指標			校内研修	校外研修
	教育相談	・児童生徒の状況に応じて、教育相談等の必要性を判断したり、ＳＣ・ＳＳＷや関係機関等との円滑な連携を図ったりするために、児童生徒の実態等の現状について、他の教職員に確実に報告・連絡・相談することができる ・教育相談に関わる基礎理論を理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談を実践することができる		
	キャリア教育	・キャリア教育の意義を理解し、児童生徒の発達段階に応じて勤労観・職業観を育成し、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を実践することができる		
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		・児童生徒が示すサインやつまずきの早期発見に努め、児童生徒の行動等の背景にある特性について理解するなど実態把握をすることができる ・児童生徒の実態から一人一人の教育的ニーズに応じた個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成ができ、それらに基づいた適切な指導・支援をすることができる ・児童生徒への適切な指導・支援を行うために、管理職や他の教職員に相談しながら、校内の支援体制を活用して組織的に対応することができる	・日々の観察やチェックリスト等を活用して児童生徒の実態把握に取り組む方法を理解する ・特別支援教育コーディネーターや指導教員等から助言を受け、個別の教育支援計画及び個別の指導計画等の作成や支援のための知識・理解を深める	・特別支援教育等に関する基礎的・基本的な知識を身に付ける ＜研修例＞ ・初任者研修講座 ・初期研修講座 ・課題別研修講座 ・ちょっと学びタイム研修講座 ・ＮＩＴＳ研修講座
ＩＣＴや情報・教育データの利活用	授業や校務への活用	・学校におけるＩＣＴ活用の意義を理解し、授業や校務等において、ＩＣＴを適切に活用することができる	・情報活用能力の育成やＩＣＴを活用した実践について、日常的に他の教員の授業を参観する ・教育データの活用について、学年等で相談したり、協議したりする	・ＩＣＴ活用指導力の基礎・基本を身に付ける ＜研修例＞ ・初任者研修講座 ・初期研修講座 ・課題別研修講座 ・ＮＩＴＳ研修講座
	ＩＣＴ活用指導力	・児童生徒がＩＣＴの基本的な操作ができるように指導することができる		

指標			校内研修	校外研修
	教育データの利活用	・教育データを適切に活用することの意義と効果を理解し、活用することができる		

イ　基礎定着期

指標			校内研修	校外研修
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している ・教員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている ・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている	・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して自分の意見を適切に伝える ・自校の教育課題についての理解を深め、分掌組織の一員として、会議等で課題解決の方法について提案する	・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む ・家庭や地域・関係機関等との連携や学校安全に関する具体的な進め方や適切な対応方法を身に付ける ＜研修例＞ ・中堅教諭等資質向上研修講座 ・ＮＩＴＳ研修講座
	コミュニケーション能力	・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている ・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている ・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている		
	マネジメント	・学校の社会的役割を理解し、他の教職員と協働し、組織の一員として、自身の意見を効果的に伝えるなど積極的に教育課程や組織の運営に参画することができる		
	連携・協働	・家庭や地域・関係機関等に対して、自校の指導方針等を伝えつつ、それぞれの理解と協力を得ることができる ・家庭や地域・関係機関等と良好な関係を築き、連携・協働した教育活動を推進することができる		

指標			校内研修	校外研修
	危機管理	・危機管理の重要性や自身の役割を十分理解し、事象発生時には適切に対応することができる ・安心・安全な学校づくりに他の教職員と協働して取り組むことができる		
学習指導	各教科等の専門的知識	・各教科等の特質に応じ、資質・能力をはぐくむために必要となる専門的知識を身に付け、指導に生かすことができる	・校内での研修・研究に関して積極的に提案や研究授業等を行う ・教員同士で指導方法等を共有し合えるよう、提案する ・校内の研修・研究の場で、授業の改善点等について発言する	・実践的指導力を養うとともに教科等に関する具体的な指導方法を身に付ける ・専門的指導力、授業力を向上する <研修例> ・中堅教諭等資質向上研修講座 ・教科等専門研修講座 ・ちょっと学びタイム研修講座 ・ＮＩＴＳ研修講座
	授業設計	・カリキュラム・マネジメントの考え方を理解し、学習指導要領及び児童生徒の実態に基づき、他の教職員と協働して地域の人材等を活用した指導計画を作成し、授業を組み立てることができる		
	授業実践	・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業実践に努めるとともに、基礎的な知識・技能の確実な定着とそれらを適切に活用する力を培う児童生徒中心の授業を実践することができる ・児童生徒理解に基づき、付けたい力を明確にして授業等を構想するとともに、主体的に研究授業等に取り組むことができる		
	評価・改善	・児童生徒の反応や理解度等の学習状況から自己の授業を評価し、研究授業等の機会を通して、課題を明確にした上で、授業改善に取り組むことができる		

指標			校内研修	校外研修
生徒指導	児童生徒理解に基づく集団づくり	・児童生徒一人一人の行動の変化を細部まで見逃さず捉え、児童生徒の生活背景を踏まえた実態の把握を行うことができる ・学校経営計画や学年の指導計画の下、状況に応じて自らの意見を述べ、児童生徒同士で考える支持的で創造的な学級経営を行うことができる	・生徒指導に関する会議等で発言する ・学級の様子や生活指導上の課題について、教職員同士で情報を共有したり、対応したりする ・外部機関との連携の在り方について深める	・生徒指導やキャリア教育、教育相談等に関する専門的な知識・理解を深め、具体的な指導方法を身に付ける <研修例> ・中堅教諭等資質向上研修講座 ・課題別研修講座 ・ＮＩＴＳ研修講座
	指導	・全ての児童生徒が自発的・主体的に自ら成長を促すことのできる積極的な生徒指導を日常的に進めることができる ・深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、他の教職員や関係機関等と連携しながら事象への多様な対応をすることができる		
	教育相談	・児童生徒の状況に応じて、教育相談等の必要性を判断したり、ＳＣ・ＳＳＷや関係機関等との円滑な連携を図ったりするために、児童生徒の実態等の現状について、他の教職員に確実に報告・連絡・相談することができる ・教育相談に関わる基礎理論を理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談を実践することができる		
	キャリア教育	・キャリア教育の視点に立って、児童生徒の発達段階に応じて勤労観・職業観を系統的に育成し、自らの在り方や生き方を設計できるような指導を行うことができる		

指標			校内研修	校外研修
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		・児童生徒が示すサインやつまずきの早期発見に努め、児童生徒の行動等の背景にある特性について理解するなど実態把握をすることができる ・児童生徒の実態から一人一人の教育的ニーズに応じた個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成ができ、それらに基づいた適切な指導・支援をすることができる ・児童生徒への適切な指導・支援を行うために、管理職や他の教職員に相談しながら、校内の支援体制を活用して組織的に対応することができる	・児童生徒の実態把握に基づいて個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、それに基づいた適切な指導・支援の方法について他の教職員や保護者に説明する ・校内支援委員会等において、児童生徒の指導・支援について提案する	・特別支援教育等に関する専門的な知識・理解を深め、適切な指導・支援の方法を身に付ける <研修例> ・中堅教諭等資質向上研修講座 ・課題別研修講座 ・ちょっと学びタイム研修講座 ・ＮＩＴＳ研修講座
ＩＣＴや情報・教育データの利活用	授業や校務への活用	・児童生徒の情報活用の基盤となる知識や技能の育成に向けて、授業や校務等においてＩＣＴを効果的に活用し、個に応じた指導方法を工夫して授業を実践することができる	・ＩＣＴを効果的に活用した提案や研究授業等を行う ・教育データを活用し、児童生徒の指導・支援について発言する	・ＩＣＴ活用指導力を向上させ、デジタル技術の活用等に関する具体的な指導方法を身に付ける <研修例> ・中堅教諭等資質向上研修講座 ・課題別研修講座 ・ＮＩＴＳ研修講座
	ＩＣＴ活用指導力	・児童生徒がＩＣＴを学習のツールとして使えるように指導することができる		
	教育データの利活用	・個々の児童生徒に応じた学習指導と生徒指導等の改善のため、教育データを適切に活用し、指導に役立てることができる		

ウ　伸長期

指標			校内研修	校外研修
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している ・教員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている ・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている	・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して他者の意見を受け止め、自分の意見を適切に伝える ・自校の教育課題を分析・重点化し、研修・研究等の機会を通して教職員の対応力向上に関して適切に助言する	・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む ・家庭や地域・関係機関等との連携や危機管理に関する具体的な進め方や適切な対応方法について具体的に助言する力を身に付ける <研修例> ・キャリアアップ研修講座 ・ＮＩＴＳ研修講座
	コミュニケーション能力	・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている ・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている ・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている		
	マネジメント	・自身や学校の強み・弱みを理解し、学校組織をつなぐ中核として、業務の見直しや課題解決に向けて、教育課程や組織の運営に関して他の教職員に助言することができる		
	連携・協働	・教職員の中心となって家庭や地域・関係機関等と連携・協働した教育活動を計画・推進することができる ・家庭や地域・関係機関等と連携・協働し、自校の課題を解決するための手法を他の教職員に助言することができる		
	危機管理	・教職員の中心となって危機の未然防止に率先して取り組むことができる ・自校の危機管理の具体的な方法について、他の教職員に助言することができる		

<table>
<tr><th colspan="3">指標</th><th>校内研修</th><th>校外研修</th></tr>
<tr><td rowspan="4">学習指導</td><td>各教科等の専門的知識</td><td>・各教科等の特質に応じ、資質・能力をはぐくむために必要となる専門的知識を高め、指導に生かすとともに他の教職員に助言することができる</td><td rowspan="4">・専門とする教科等について他の教員に助言を行う
・教職員の中心となって、指導計画や単元、授業の組立について提案する
・校内の研修・研究の場で、学習指導要領の趣旨や指導のねらいを踏まえ、授業改善について発言する</td><td rowspan="4">・教科等の指導方法や教科等に関する具体的な指導の工夫について助言する力を身に付ける

＜研修例＞
・キャリアアップ研修講座
・教科等専門研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座</td></tr>
<tr><td>授業設計</td><td>・学習指導要領及び自校の特色に基づき、リーダーシップを発揮して地域との連携・協働を図りながら指導計画を立案し、教育活動の質を高めるために単元や授業の組み立てを工夫し、実施することができる</td></tr>
<tr><td>授業実践</td><td>・主体的・対話的で深い学びを実現するために、言語活動を充実させる等の具体的な視点をもって授業実践を行うとともに、個に応じた指導等により、確かな学力を培う児童生徒中心の授業を実践することができる
・授業力向上を図る観点から、教材研究や指導方法を工夫し、他の教員の授業構想等に対して助言することができる</td></tr>
<tr><td>評価・改善</td><td>・児童生徒の学習意欲や目標達成度から適切に自己の授業を評価し、研究授業等の機会を通して、課題に対する解決方法を明確にして授業改善に取り組むことができる</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">指標</th><th>校内研修</th><th>校外研修</th></tr>
<tr><td rowspan="4">生徒指導</td><td>児童生徒理解に基づく集団づくり</td><td>・児童生徒一人一人の変化を的確に捉え、直ちにその変化の要因を確認し、教職員の中心となって、児童生徒の情報を収集し、それを他の教職員と共有することができる
・自校の教育目標に基づき、学年や分掌の具体目標と行動計画の設定及び見直しを行うことができる</td><td rowspan="4">・児童生徒の行動観察や教員からの情報に基づき、自校の生徒指導の課題を捉え、改善策を示す
・各学年、学級の指導状況を把握し、実態に応じて外部機関等と連携しながら組織的に対応する</td><td rowspan="4">・生徒指導やキャリア教育、教育相談等に関する具体的な指導上の工夫ついて助言する力を身に付ける

＜研修例＞
・キャリアアップ研修講座
・課題別研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座</td></tr>
<tr><td>指導</td><td>・全ての児童生徒に対する諸課題の発生を未然防止する具体的な生徒指導の方法を示すとともに、他の教職員に助言することができる
・深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、自校の生徒指導の方針に基づき、教職員の中心となって組織的に事象に対応することができる</td></tr>
<tr><td>教育相談</td><td>・自校の中心となって、教育相談等の必要性を判断し、ＳＣ・ＳＳＷや関係機関等との効果的な連携・協力を推進するとともに、他の教職員に対してその活用について指導・助言することができる
・教育相談に関わる基礎理論を深く理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談の組織的な取組を推進することができる</td></tr>
<tr><td>キャリア教育</td><td>・家庭や地域・社会、産業界と連携しながら、学校の教育活動全体を通じて行うキャリア教育について、他の教職員に助言することができる</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2">指標</th><th>校内研修</th><th>校外研修</th></tr>
<tr><td colspan="2">特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応</td><td>・学校全体に係る特別支援教育をリードするとともに、児童生徒への適切な指導・支援について他の教職員に指導・助言することができる
・特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的な方策を提案することができる
・福祉・医療等の関係機関や専門家等と連携しながら、組織的・継続的に対応することができる</td><td>・児童生徒一人一人の特性に応じた適切な指導・支援について担任等へ助言を行う
・校内支援委員会等において、学校や学年全体での具体的な指導・支援について提案する</td><td>・特別支援教育等に関する適切な指導・支援について具体的に助言する力を身に付ける

＜研修例＞
・キャリアアップ研修講座
・課題別研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ＩＣＴや情報・教育データの利活用</td><td>授業や校務への活用</td><td>・児童生徒の情報活用能力の育成のために、授業や校務等において適切かつ効果的にＩＣＴを活用し、自己の実践を振り返り授業改善に取り組むとともに、ＩＣＴ活用について他の教職員に助言することができる</td><td rowspan="3">・ＩＣＴ活用における実践課題を整理し、改善策を提案する
・授業改善や児童生徒の指導・支援につながる教育データの効果的な利活用について提案する</td><td rowspan="3">・デジタル技術の活用等に関する具体的な指導の工夫やＩＣＴ活用について助言する力を身に付ける

＜研修例＞
・キャリアアップ研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座</td></tr>
<tr><td>ＩＣＴ活用指導力</td><td>・児童生徒がＩＣＴを学習のツールとして使いこなせるように、児童生徒に応じて指導を工夫することができる</td></tr>
<tr><td>教育データの利活用</td><td>・個々の児童生徒に応じた学習指導と生徒指導等の改善のため、教育データを適切かつ効果的に活用し、授業改善や指導・支援について具体的に提案することができる</td></tr>
</table>

エ　充実期

指標			校内研修	校外研修
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している ・教員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている ・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている	・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して他者の意見を受け止め、自分の意見を適切に伝え、改善策等を提案する ・自校の教育課題を共有し、課題解決に向けて教職員の中心となって、組織的に対応する体制づくりについて提案する	・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む ・家庭や地域・関係機関等との連携や危機管理に関する具体的な進め方や適切な対応方法について学校経営の視点から具体的に指導・助言する力を身に付ける <研修例> ・キャリアアップ研修講座 ・ＮＩＴＳ研修講座
	コミュニケーション能力	・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている ・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている ・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている		
	マネジメント	・学校組織マネジメントの意義を理解し、自校の特性を見極め、状況に応じて教職員が能力を発揮できる体制づくりの提案ができる		
	連携・協働	・自校の課題解決に向け、学校内外における様々な人々と広く連携・協働を図るための組織づくりの提案ができる ・自校の課題解決に向け、家庭や地域・関係機関等との連携・協働を推進するための具体的な方法について、他の教職員に指導・助言することができる		
	危機管理	・自校の危機管理体制を常に点検することができる ・危機管理に関する課題解決に向けた提案、改善など具体的な方法を他の教職員に指導・助言することができる		

<table>
<tr><th colspan="3">指標</th><th>校内研修</th><th>校外研修</th></tr>
<tr><td rowspan="4">学習指導</td><td>各教科等の専門的知識</td><td>・各教科等の特質に応じ、資質・能力をはぐくむために必要となる専門性を高め続けるとともに、学校自校の学習指導上の課題について、他の教職員に指導・助言することができる</td><td rowspan="4">・専門とする教科等について他の教員に指導・助言を行う
・校内の研修・研究の場で、研究主題等を踏まえ、授業改善について、積極的に発言する
・全学年・全教科等にわたる課題を整理し、教育課程の編成について会議等で提案する</td><td rowspan="4">・教科等の指導方法や教科等に関する具体的な指導の工夫や授業構想等について指導・助言する力を身に付ける

＜研修例＞
・キャリアアップ研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座</td></tr>
<tr><td>授業設計</td><td>・自校の教育目標に基づき、学習上の課題を明確に捉えるとともに、カリキュラム・マネジメントの視点をもち、教育課程の編成について、提案ができる</td></tr>
<tr><td>授業実践</td><td>・主体的・対話的で深い学びを実現するために、多様で具体的な視点をもって授業実践を率先して行うとともに、学びを人生や社会に生かすことができる児童生徒中心の授業を実践することができる
・自校の教育目標達成の観点から、多様な工夫を取り入れた計画を立案し、他の教員の授業構想等に対して指導・助言することができる</td></tr>
<tr><td>評価・改善</td><td>・自校の教育課題への対応や研究主題の達成の視点から自己の授業を適切に評価し、研究授業等の機会を通して、率先して授業改善に取り組むことができる</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">指標</th><th>校内研修</th><th>校外研修</th></tr>
<tr><td rowspan="4">生徒指導</td><td>児童生徒理解に基づく集団づくり</td><td>・事象の要因を確認する際の対応及びその情報の取扱いを適切に行い、具体的指導例を伴って、他の教職員に対応方法等を指導・助言することができる
・自校の教育目標の実現に向け、教育課程を点検することを通して、学校改善について推進することができる</td><td rowspan="2">・アンケート等を実施し、生徒指導上の課題を整理し、まとめ、改善策を会議等で提案する
・自校の生徒指導方針を明確に示し、教職員の中心となって、実態に応じて組織的に対応する体制づくりについて提案する</td><td rowspan="2">・生徒指導やキャリア教育、教育相談等に関する具体的な指導上の工夫について指導・助言する力を身に付ける

＜研修例＞
・キャリアアップ研修講座
・課題別研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座</td></tr>
<tr><td>指導</td><td>・学校全体に係る生徒指導をリードするとともに、他の教職員の指導方法について指導・助言することができる
・自校の生徒指導の方針に基づいた生徒指導体制の構築に率先して取り組むことができる</td></tr>
<tr><td>教育相談</td><td>・自校の中心となって、教育相談等の必要性を判断し、ＳＣ・ＳＳＷや関係機関等との効果的な連携・協力を推進するとともに、他の教職員に対してその活用について指導・助言することができる
・教育相談に関わる基礎理論を深く理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談の組織的な取組を推進することができる</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>キャリア教育</td><td>・児童生徒の実態や学校の特色、地域の実情など様々な視点から現状を把握しながら、学校の教育活動全体を通じて行うキャリア教育を推進し、その意義や方法、評価の在り方等を他の教職員に指導・助言することができる</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2">指標</th><th>校内研修</th><th>校外研修</th></tr>
<tr><td colspan="2">特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応</td><td>・学校全体に係る特別支援教育をリードするとともに、児童生徒への適切な指導・支援について他の教職員に指導・助言することができる
・特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的な方策を提案することができる
・福祉・医療等の関係機関や専門家等と連携しながら、組織的・継続的に対応することができる</td><td>・児童生徒に対する適切な指導・支援について検討する際、学校の教育活動全体を視野に指導・助言を行う
・特別な配慮や支援への対応に関する校内体制の総括及び評価と改善について提案する</td><td>・特別支援教育等に関する具体的な指導の工夫について学校の教育活動全体を視野に指導・助言する力を身に付ける

＜研修例＞
・キャリアアップ研修講座
・課題別研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ＩＣＴや情報・教育データの利活用</td><td>授業や校務への活用</td><td>・ＩＣＴを多様な視点で活用した実践に取り組み、学校内外において自己の能力を生かし、教育の情報化を推進するとともに、ＩＣＴ活用について他の教職員に指導・助言することができる</td><td rowspan="3">・ＩＣＴ活用における効果的な実践をまとめ、学校全体として取り組む研修を行う。
・各教員の授業や各分掌の取組状況を把握し、学校の教育活動全体を視野に教育データの効果的な利活用について会議等で提案する</td><td rowspan="3">・デジタル技術の活用等に関する具体的な指導の工夫やＩＣＴ活用について指導・助言する力を身に付ける

＜研修例＞
・キャリアアップ研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座</td></tr>
<tr><td>ＩＣＴ活用指導力</td><td>・児童生徒がＩＣＴを学習のツールとして使いこなし、学習を進められるように、児童生徒に応じて指導を工夫することができる</td></tr>
<tr><td>教育データの利活用</td><td>・教育データの利活用に係る校内組織の整備を図るとともに、授業改善や効果的な指導・支援を充実させるため、利活用に関する評価・改善を行うことができる</td></tr>
</table>

(2) 養護教諭等

ア　基礎形成期

指標			校内研修	校外研修
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している ・教員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている ・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている	・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して自分の意見を伝える ・校務分掌の部会等で、自分の担当する職務について、指導を受けながら校務に参画する	・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む ・家庭や地域との連携や学校安全に関する基礎・基本を身に付ける ＜研修例＞ ・新規採用者研修講座 ・初期研修講座 ・ＮＩＴＳ研修講座
	コミュニケーション能力	・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている ・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている ・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている		
	マネジメント	・学校及び教職の意義を理解し、組織の一員として果たすべき役割を十分理解して職務を遂行することができる		
	連携・協働	・家庭に対して、保健室の経営方針等を説明し、理解と協力を得ることができる ・家庭の協力のもと学校保健活動を効果的に進めることができる		
	危機管理	・学校安全に関する基礎的な知識を有し、事象発生時には正しい手順で対応することができる ・未然防止のための身の回りの安全点検を確実に行うことができる		

<table>
<tr><th colspan="3">指標</th><th>校内研修</th><th>校外研修</th></tr>
<tr><td rowspan="5">専門領域における指導</td><td>保健管理</td><td>・健康診断や健康観察により児童生徒の心身の健康状態の把握に努め、対応することができる
・学校保健安全法を理解し、学校環境衛生活動や感染症予防に関する保健管理ができる
・アレルギー疾患やメンタルヘルスの問題等、現代的な健康課題について理解し、適切に対応することができる
・常に救急処置に関する知識を更新し、適切に緊急時対応を行うことができる</td><td rowspan="5">・児童生徒の健康状態や健康課題について、日常的に他の教職員と相談したり、協議したりする
・学習指導要領に基づいて学習指導案を作成し、他の教職員の指導・助言を受ける
・保健室経営について、管理職や教職員の指導・助言を受ける</td><td rowspan="5">・基礎的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を身に付ける
・専門的知識、授業力を身に付ける

＜研修例＞
・新規採用者研修講座
・初期研修講座
・ちょっと学びタイム研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座
・研究会主催研修会</td></tr>
<tr><td>保健教育</td><td>・学習指導要領を理解し、養護教諭の専門性を生かして、主体的・対話的で深い学びの視点に立った指導を目指すことができる</td></tr>
<tr><td>健康相談</td><td>・児童生徒の発達に伴う疾病を理解し、健康相談に関する基礎的知識をもって対応することができる</td></tr>
<tr><td>組織的活動</td><td>・保健室の利用しやすい環境づくりに努め、健康相談や救急処置等を行うことができる
・学校保健委員会や児童生徒保健委員会活動の意義と重要性を理解し、積極的に取り組むことができる</td></tr>
<tr><td>評価・改善</td><td>・保健室経営計画の意義を理解し、立案することができる
・保健室経営計画に基づいて取組を評価し、研修会等の機会を通して知識の習得や技術の改善に取り組むことができる</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">指標</th><th>校内研修</th><th>校外研修</th></tr>
<tr><td rowspan="4">生徒指導</td><td>児童生徒理解に基づく集団づくり</td><td>・児童生徒一人一人の言動や心の動きからその児童生徒の置かれている現状を理解し、児童生徒と積極的に向き合うことができる
・児童生徒一人一人が自己存在感を実感し、相互の多様性を認め合い安心できる学級づくりに協力することができる</td><td rowspan="4">・管理職や主任等による研修や指導・助言を受ける
・学年会議等で児童生徒の様子や保健室経営等について相談したり、協議したりする
・外部機関との連携の在り方について知る</td><td rowspan="4">・生徒指導やキャリア教育、教育相談等の基礎・基本を身に付ける

＜研修例＞
・新規採用者研修講座
・初期研修講座
・課題別研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座</td></tr>
<tr><td>指導</td><td>・全ての児童生徒が自発的・主体的に成長や発達をしていく過程を支える視点を理解している。
・深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、他の教職員からの助言・支援を得ながら事象に対応することができる</td></tr>
<tr><td>教育相談</td><td>・児童生徒の状況に応じて、教育相談等の必要性を判断したり、ＳＣ・ＳＳＷや関係機関等との円滑な連携を図ったりするために、児童生徒の実態等の現状について、他の教職員に確実に報告・連絡・相談することができる絡・相談することができる
・教育相談に関わる基礎理論を理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談を実践することができる</td></tr>
<tr><td>キャリア教育</td><td>・キャリア教育の意義を理解し、児童生徒の発達段階に応じて勤労観・職業観を育成し、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を実践することができる</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">指標</th><th>校内研修</th><th>校外研修</th></tr>
<tr><td colspan="2">特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応</td><td>・児童生徒が示すサインやつまずきの早期発見に努め、児童生徒の行動等の背景にある特性について理解するなど実態把握をすることができる
・児童生徒の実態から一人一人の教育的ニーズに応じた個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成ができ、それらに基づいた適切な指導・支援をすることができる
・児童生徒へ適切な指導・支援を行うために、管理職や他の教職員に相談しながら、組織的・継続的に対応することができる
・医療的ケアが必要な児童生徒や長期療養により登校できない児童生徒について、医療機関等と連携した指導・支援をすることができる</td><td>・日々の観察やチェックリスト等を活用して児童生徒の実態把握に取り組む方法を理解する
・特別支援教育コーディネーターや指導教員等から助言を受け、個別の教育支援計画及び個別の指導計画等の作成や支援のための知識・理解を深める</td><td>・特別支援教育等に関する基礎的・基本的な知識を身に付ける

＜研修例＞
・新規採用者研修
・初期研修講座
・課題別研修講座
・ちょっと学びタイム研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ＩＣＴや情報・教育データの利活用</td><td>保健管理や保健指導への活用</td><td>・学校におけるＩＣＴ活用の意義を理解し、児童生徒の健康診断結果や保健室来室状況などのデータ管理において、ＩＣＴを活用することができる
・学校感染症サーベイランス等の情報を収集し、的確に分析することで感染予防に役立てることができる</td><td rowspan="3">・情報活用能力の育成やＩＣＴを活用した実践について、日常的に他の教員の授業を参観する
・教育データの活用について、学年等で相談したり、協議したりする</td><td rowspan="3">・ＩＣＴ活用指導力の基礎・基本を身に付ける

＜研修例＞
・新規採用者研修講座
・初期研修講座
・課題別研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座</td></tr>
<tr><td>ＩＣＴ活用指導力</td><td>・児童生徒がＩＣＴの基本的な操作ができるように指導することができる</td></tr>
<tr><td>教育データの利活用</td><td>・教育データを適切に活用することの意義と効果を理解し、活用することができる</td></tr>
</table>

イ　基礎定着期

指標			校内研修	校外研修
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している ・教員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている ・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている	・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して自分の意見を適切に伝える ・自校の健康課題についての理解を深め、分掌組織の一員として、会議等で課題解決の方法について提案する	・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む ・家庭や地域・関係機関等との連携や学校安全に関する具体的な進め方や適切な対応方法を身に付ける <研修例> ・中堅教諭等資質向上研修講座 ・ＮＩＴＳ研修講座
	コミュニケーション能力	・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている ・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている ・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている		
	マネジメント	・学校の社会的役割を理解し、他の教職員と協働し、組織の一員として、自身の意見を効果的に伝えるなど積極的に教育課程や組織の運営に参画することができる		
	連携・協働	・家庭や地域・関係機関等に対して、自校の指導方針等を伝えつつ、それぞれの理解と協力を得ることができる ・家庭や地域・関係機関等と良好な関係を築き、連携・協働した学校保健活動を推進することができる		
	危機管理	・危機管理の重要性や自身の役割を十分理解し、事象発生時には適切に対応することができる ・安心・安全な学校づくりに他の教職員と協働して取り組むことができる		

<table>
<tr><th colspan="3">指標</th><th>校内研修</th><th>校外研修</th></tr>
<tr><td rowspan="5">専門領域における指導</td><td>保健管理</td><td>・健康診断や健康観察により児童生徒の心身の疾病や異常を早期に発見し、適切に対応することができる
・学校保健安全法を理解し、学校環境衛生活動や感染症予防に関する保健管理ができる
・アレルギー疾患やメンタルヘルスの問題等、現代的な健康課題について理解し、適切に対応することができる
・常に救急処置に関する知識を更新し、適切に緊急時対応を行うことができる</td><td rowspan="5">・主体的に児童生徒の健康課題の解決等に取り組む
・教員同士で指導方法等を共有し合えるよう、提案する
・校内の研修・研究の場で、授業の改善点等について発言する
・保健室経営について、管理職や教職員の指導・助言を受ける</td><td rowspan="5">・実践的指導力を養うとともに教科等に関する具体的な指導方法を身に付ける
・専門的指導力、授業力を向上する

＜研修例＞
・中堅教諭等資質向上研修講座
・教科等専門研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座
・研究会主催研修会</td></tr>
<tr><td>保健教育</td><td>・カリキュラム・マネジメントの考え方を理解し、学級担任や教科担任等と連携し、専門性を生かした保健教育の実践ができる</td></tr>
<tr><td>健康相談</td><td>・健康相談のプロセスを理解し、児童生徒の健康課題について、他の教職員やＳＣ・ＳＳW等の専門スタッフと連携し、早期に対応することができる</td></tr>
<tr><td>組織的活動</td><td>・他の教職員と連携し、児童生徒が安全・安心して保健室が利用できるよう運営することができる
・保健主事と共に児童生徒の実態に応じた学校保健計画を立案し、保健組織活動を積極的に推進し、児童生徒と教職員が主体的に参加する体制を整えることができる</td></tr>
<tr><td>評価・改善</td><td>・情報を収集・分析し、児童生徒の健康課題を明らかにすることで実態に応じた保健室経営計画を立案することができる
・保健室経営計画に基づき、より積極的に実践し、適切な評価・改善を行うことができる</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">指標</th><th>校内研修</th><th>校外研修</th></tr>
<tr><td rowspan="4">生徒指導</td><td>児童生徒理解に基づく集団づくり</td><td>・児童生徒一人一人の行動の変化を細部まで見逃さず捉え、児童生徒の生活背景を踏まえた実態の把握を行うことができる
・学校経営計画や学年の指導計画の下、状況に応じて自らの意見を述べ、児童生徒同士で考える支持的で創造的な学級経営に参画することができる</td><td rowspan="4">・生徒指導に関する会議等で発言する
・学級の様子や生活指導上の課題について、教職員同士で情報を共有したり、対応したりする
・外部機関との連携の在り方について深める</td><td rowspan="4">・生徒指導やキャリア教育、教育相談等に関する専門的な知識・理解を深め、具体的な指導方法を身に付ける

＜研修例＞
・中堅教諭等資質向上研修講座
・課題別研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座</td></tr>
<tr><td>指導</td><td>・全ての児童生徒が自発的・主体的に自ら成長を促すことのできる積極的な生徒指導を日常的に進めることができる
・深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、他の教職員や関係機関等と連携しながら事象への多様な対応をすることができる</td></tr>
<tr><td>教育相談</td><td>・児童生徒の状況に応じて、教育相談等の必要性を判断したり、ＳＣ・ＳＳＷや関係機関等との円滑な連携を図ったりするために、児童生徒の実態等の現状について、他の教職員に確実に報告・連絡・相談することができる
・教育相談に関わる基礎理論を理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談を実践することができる</td></tr>
<tr><td>キャリア教育</td><td>・キャリア教育の視点に立って、児童生徒の発達段階に応じて勤労観・職業観を系統的に育成し、自らの在り方や生き方を設計できるような指導を行うことができる</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">指標</th><th>校内研修</th><th>校外研修</th></tr>
<tr><td colspan="2">特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応</td><td>・児童生徒が示すサインやつまずきの早期発見に努め、児童生徒の行動等の背景にある特性について理解するなど実態把握をすることができる
・児童生徒の実態から一人一人の教育的ニーズに応じた個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成ができ、それらに基づいた適切な指導・支援することができる
・児童生徒への適切な指導・支援を行うために、管理職や他の教職員に相談しながら、校内の支援体制を活用して組織的に対応することができる
・医療的ケアが必要な児童生徒や長期療養により登校できない児童生徒について、医療機関等と連携した指導・支援をすることができる</td><td>・児童生徒の実態把握に基づいて個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、それに基づいた適切な指導・支援の方法について他の教職員や保護者に説明する
・校内支援委員会等において、児童生徒の指導・支援について提案する</td><td>・特別支援教育等に関する専門的な知識・理解を深め、適切な指導・支援の方法を身に付ける

＜研修例＞
・中堅教諭等資質向上研修講座
・課題別研修講座
・ちょっと学びタイム研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ＩＣＴや情報・教育データの利活用</td><td>保健管理や保健指導への活用</td><td>・ＩＣＴを活用するための知識・技能を身に付け、より効果的にＩＣＴを活用した保健教育を実践することができる</td><td rowspan="3">・ＩＣＴを効果的に活用した提案等を行う
・教育データを活用し、児童・生徒の指導支援について発言する</td><td rowspan="3">・ＩＣＴ活用指導力を向上させ、デジタル技術の活用等に関する具体的な指導方法を身に付ける

＜研修例＞
・中堅教諭等資質向上研修講座
・課題別研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座</td></tr>
<tr><td>ＩＣＴ活用指導力</td><td>・児童生徒がＩＣＴを学習のツールとして使えるように指導することができる</td></tr>
<tr><td>教育データの利活用</td><td>・個々の児童生徒に応じた学習指導と生徒指導等の改善のため、教育データを適切に活用し、指導に役立てることができる</td></tr>
</table>

ウ　伸長期

<table>
<tr><th colspan="3">指標</th><th>校内研修</th><th>校外研修</th></tr>
<tr><td rowspan="5">教職に必要な素養</td><td>主体的に学び続ける姿勢</td><td>・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している
・教員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている
・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</td><td rowspan="5">・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して他者の意見を受け止め、自分の意見を適切に伝える
・自校の健康課題を分析・重点化し、研修・研究等の機会を通して教職員の対応力向上に関して適切に助言する</td><td rowspan="5">・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む
・家庭や地域・関係機関等との連携や危機管理に関する具体的な進め方や適切な対応方法について具体的に助言する力を身に付ける

＜研修例＞
・キャリアアップ研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座</td></tr>
<tr><td>コミュニケーション能力</td><td>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている
・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている
・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている</td></tr>
<tr><td>マネジメント</td><td>・自身や学校の強み・弱みを理解し、学校組織をつなぐ中核として、業務の見直しや課題解決に向けて、教育課程や組織の運営に関して他の教職員に助言することができる</td></tr>
<tr><td>連携・協働</td><td>・教職員の中心となって家庭や地域・関係機関等と連携・協働した学校保健活動を計画し推進することができる
・家庭や地域・関係機関等と連携・協働し、自校の健康課題を解決するための手法を他の教職員に助言することができる</td></tr>
<tr><td>危機管理</td><td>・教職員の中心となって危機の未然防止に率先して取り組むことができる
・自校の危機管理の具体的な方法について、他の教職員に助言することができる</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">指標</th><th>校内研修</th><th>校外研修</th></tr>
<tr><td rowspan="5">専門領域における指導</td><td>保健管理</td><td>・健康診断や健康観察により児童生徒の健康課題を明確にし、その解決に向けて支援方法を立案し、組織的に対応することができる
・現代的な健康課題に対応できるよう校内研修を企画するなど、保健管理に関して指導的な立場を果たすことができる
・常に救急処置に関する知識を更新し、適切に緊急時対応を行うとともに、校内研修等を通じて他の教職員に指導することができる</td><td rowspan="5">・児童生徒の健康課題の解決の方策等について、教員同士で共有し、組織的に取り組む
・校内の研修・研究の場で、児童生徒の健康課題やその解決策等について発言する
・校内での研修・研究に関して積極的に提案や研究授業等を行う
・保健室経営について、管理職や教職員の指導・助言を受ける</td><td rowspan="5">・実践的指導力を養うとともに教科等に関する具体的な指導方法を身に付ける
・専門的指導力、授業力を向上する

＜研修例＞
・キャリアアップ研修講座
・教科等専門研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座
・研究会主催研修会</td></tr>
<tr><td>保健教育</td><td>・児童生徒の発達段階に応じて、主体的・対話的で深い学びの視点に立った保健教育を実践するとともに、適切な評価と改善を行うことができる</td></tr>
<tr><td>健康相談</td><td>・児童生徒の健康課題について、保護者や専門家と連携し、適切なに対応することができる（コーディネーター的役割）</td></tr>
<tr><td>組織的活動</td><td>・学校教育目標の実現に向け、組織運営に積極的に参加し、保健室経営を工夫・改善することができる
・健康課題を把握し、学校三師・関係機関・関係者との連携協力体制を構築・運営することができる</td></tr>
<tr><td>評価・改善</td><td>・児童生徒の健康課題の解決のために適切な方策を考え、保健室経営計画に反映することができる
・保健室経営計画に基づいて実践を深めるとともに、他者評価を得るなど、より多面的に評価・改善を行うことができる</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">指標</th><th>校内研修</th><th>校外研修</th></tr>
<tr><td rowspan="4">生徒指導</td><td>児童生徒理解に基づく集団づくり</td><td>・児童生徒一人一人の変化を的確に捉え、直ちにその変化の要因を確認し、教職員の中心となって、児童生徒の情報を収集し、それを他の教職員と共有することができる
・自校の教育目標に基づき、学年や分掌の具体目標と行動計画の設定及び見直しを行うことができる</td><td rowspan="4">・児童生徒の行動観察や教員からの情報に基づき、自校の生徒指導の課題を捉え、改善策を示す
・各学年、学級の指導状況を把握し、実態に応じて外部機関等と連携しながら組織的に対応する</td><td rowspan="4">・生徒指導やキャリア教育、教育相談等に関する具体的な指導上の工夫ついて助言する力を身に付ける

＜研修例＞
・キャリアアップ研修講座
・課題別研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座</td></tr>
<tr><td>指導</td><td>・全ての児童生徒に対する諸課題の発生を未然防止する具体的な生徒指導の方法を示すとともに、他の教職員に助言することができる
・深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、自校の生徒指導の方針に基づき、教職員の中心となって組織的に事象に対応することができる</td></tr>
<tr><td>教育相談</td><td>・自校の中心となって、教育相談等の必要性を判断し、ＳＣ・ＳＳＷや関係機関等との効果的な連携・協力を推進するとともに、他の教職員に対してその活用について指導・助言することができる
・教育相談に関わる基礎理論を深く理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談の組織的な取組を推進することができる</td></tr>
<tr><td>キャリア教育</td><td>・家庭や地域・社会、産業界と連携しながら、学校の教育活動全体を通じて行うキャリア教育について、他の教職員に助言することができる</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">指標</th><th>校内研修</th><th>校外研修</th></tr>
<tr><td colspan="2">特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応</td><td>・学校全体に係る特別支援教育をリードするとともに、児童生徒への適切な指導・支援について他の教職員に指導・助言することができる
・特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的な方策を提案することができる
・福祉・医療等の関係機関や専門家等と連携しながら、組織的・継続的に対応することができる
・医療的ケアが必要な児童生徒や長期療養により登校できない児童生徒の対応について、医療機関等と連携しながら組織的・継続的な支援につなげることができる</td><td>・児童生徒一人一人の特性に応じた適切な指導・支援について担任等へ助言を行う
・校内支援委員会等において、学校や学年全体での具体的な指導・支援について提案する</td><td>・特別支援教育等に関する適切な指導・支援について具体的に助言する力を身に付ける

＜研修例＞
・キャリアアップ研修講座
・課題別研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ＩＣＴや情報・教育データの利活用</td><td>保健管理や保健指導への活用</td><td>・ＩＣＴを効果的に活用し、児童生徒の健康診断結果や保健室来室状況などのデータを分析することで、児童生徒の健康課題を把握し、他の教職員と協働して健康課題の解決に向けた実践に取り組むことができる</td><td rowspan="3">・ＩＣＴ活用における実践課題を整理し、改善策を提案する
・授業改善や児童生徒の指導支援につながる教育データの効果的な利活用について提案する</td><td rowspan="3">・デジタル技術の活用等に関する具体的な指導の工夫やＩＣＴ活用について助言する力を身に付ける

＜研修例＞
・キャリアアップ研修講座
・課題別研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座</td></tr>
<tr><td>ＩＣＴ活用指導力</td><td>・児童生徒がＩＣＴを学習のツールとして使いこなせるように、児童生徒に応じて指導を工夫することができる</td></tr>
<tr><td>教育データの利活用</td><td>・個々の児童生徒に応じた学習指導と生徒指導等の改善のため、教育データを適切かつ効果的に活用し、授業改善や指導・支援について具体的に提案することができる</td></tr>
</table>

エ　充実期

<table>
<tr><th colspan="3">指標</th><th>校内研修</th><th>校外研修</th></tr>
<tr><td rowspan="4">教職に必要な素養</td><td>主体的に学び続ける姿勢</td><td>・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している
・教員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている
・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</td><td rowspan="4">・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して他者の意見を受け止め、自分の意見を適切に伝え、改善策等を提案する
・自校の健康課題を共有し、課題解決に向けて教職員の中心となって、組織的に対応する体制づくりについて提案する</td><td rowspan="4">・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む
・家庭や地域・関係機関等との連携や危機管理に関する具体的な進め方や適切な対応方法について学校経営の視点から具体的に指導・助言する力を身に付ける
＜研修例＞
・キャリアアップ研修講座
・ＮＩＴＳ研修講座</td></tr>
<tr><td>コミュニケーション能力</td><td>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている
・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている
・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている</td></tr>
<tr><td>マネジメント</td><td>・学校組織マネジメントの意義を理解し、自校の特性を見極め、状況に応じて教職員が能力を発揮できる体制づくりについて提案することができる</td></tr>
<tr><td>連携・協働</td><td>・自校の健康課題の解決に向け、学校内外における様々な人々と広く連携・協働を図るための組織づくりについて提案することができる
・自校の課題解決に向け、家庭や地域・関係機関等との連携・協働を推進するための具体的な方法について、健康面から他の教職員に指導・助言することができる</td></tr>
</table>

指標			校内研修	校外研修
	危機管理	・自校の危機管理体制を常に点検することができる ・危機管理に関する課題解決に向けた提案、改善など具体的な方法を他の教職員に指導・助言することができる		
専門領域における指導	保健管理	・専門性を生かし、校内や地域の関係機関と連携しながら学校保健に係る学校運営に参画することができる ・現代的な健康課題の解決に向けて、常に新しい知識や技能を習得し、学校内外で指導的立場を果たすことができる ・常に救急処置に関する知識を更新し、適切に緊急時対応を行うとともに、校内研修等を通じて他の教職員に指導することができる	・児童生徒の健康課題の解決等について他の教員に指導・助言を行う ・校内の研修・研究の場で、研究主題等を踏まえ、授業改善について、積極的に発言する ・全学年・全教科等にわたる課題を整理し、教育課程の編成について会議等で提案する ・保健室経営について、管理職や教職員の指導・助言を受ける	・教科等の指導方法や教科等に関する具体的な指導の工夫や授業構想等について指導・助言する力を身に付ける ＜研修例＞ ・キャリアアップ研修講座 ・教科等専門研修講座 ・ＮＩＴＳ研修講座 ・研究会主催研修会
	保健教育	・児童生徒や地域の健康課題を踏まえ、地域の専門家や関係機関と連携した指導を実践し、他の教職員に指導・助言することができる		
	健康相談	・児童生徒の健康課題に関する校内支援体制の推進のため、校内相談体制の指導と確立に積極的に取り組むことができる		
	組織的活動	・地域の関係機関と効果的に連携・調整し、学校保健活動のセンター的機能の充実を図ることができる ・保護者や地域との連携、協働した実施体制のもと、組織的な活動をマネジメントすることができる		

指標			校内研修	校外研修
	評価・改善	・保健室経営計画がより組織的活動となるよう立案することができる ・これまでの取組について適切に評価し、学校内外の教職員・養護教諭等へ成果を伝えることで、それぞれの授業や保健室経営計画の評価・改善に役立てることができる		
	児童生徒理解に基づく集団づくり	・事象の要因を確認する際の対応及びその情報の取扱いを適切に行い、具体的指導例を伴って、他の教職員に対応方法等を指導・助言することができる ・自校の教育目標の実現に向け、教育課程を点検することを通して、学校改善について推進することができる		
生徒指導	指導	・学校全体に係る生徒指導をリードするとともに、他の教職員の指導方法について指導・助言することができる ・自校の生徒指導の方針に基づいた生徒指導体制の構築に率先して取り組むことができる	・アンケート等を実施し、生徒指導上の課題を整理し、まとめ、改善策を会議等で提案する ・自校の生徒指導方針を明確に示し、教職員の中心となって、実態に応じて組織的に対応できる体制づくりについて提案する	・生徒指導やキャリア教育、教育相談等に関する具体的な指導上の工夫について指導・助言する力を身に付ける <研修例> ・キャリアアップ研修講座 ・課題別研修講座 ・ＮＩＴＳ研修講座
	教育相談	・自校の中心となって、教育相談等の必要性を判断し、SC・SSW や関係機関等との効果的な連携・協力を推進するとともに、他の教職員に対してその活用について指導・助言することができる ・教育相談に関わる基礎理論を深く理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談の組織的な取組を推進することができる		

指標			校内研修	校外研修
	キャリア教育	・児童生徒の実態や学校の特色、地域の実情など様々な視点から現状を把握しながら、学校の教育活動全体を通じて行うキャリア教育を推進し、その意義や方法、評価の在り方等を他の教職員に指導・助言することができる		
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		・学校全体に係る特別支援教育をリードするとともに、児童生徒への適切な指導・支援について他の教職員に指導・助言することができる ・特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的な方策を提案することができる ・福祉・医療等の関係機関や専門家等と連携しながら、組織的・継続的に対応することができる ・医療的ケアが必要な児童生徒や長期療養により登校できない児童生徒の対応について、医療機関等と連携しながら組織的・継続的な支援につなげることができる	・児童生徒に対する適切な指導・支援について検討する際、学校経営の視点から指導・助言を行う ・特別な配慮や支援への対応に関する校内体制の総括及び評価と改善について提案する	・特別支援教育等に関する具体的な指導の工夫について学校経営の視点から指導・助言する力を身に付ける ＜研修例＞ ・キャリアアップ研修講座 ・課題別研修講座 ・ＮＩＴＳ研修講座
ＩＣＴや情報・教育データの利活用	保健管理や保健指導への活用	・ＩＣＴを効果的に活用し、健康状態だけでなく、学力・体力・生活状況調査等のデータから児童生徒を多面的に理解し、他の教職員に健康課題に関する指導・助言をすることができる	・ＩＣＴ活用における効果的な実践をまとめ、学校全体として取り組む研修を行う。 ・各教員の授業や各分掌の取組状況を把握し、学校経営の視点から教育データの効果的な利活用について会議等で提案する	・デジタル技術の活用等に関する具体的な指導の工夫やＩＣＴ活用について指導・助言する力を身に付ける ＜研修例＞ ・キャリアアップ研修講座 ・課題別研修講座 ・ＮＩＴＳ研修講座
	ＩＣＴ活用指導力	・児童生徒がＩＣＴを学習のツールとして使いこなし、学習を進められるように、児童生徒に応じて指導を工夫することができる		
	教育データの利活用	・教育データの利活用に係る校内組織の整備を図るとともに、授業改善や効果的な指導・支援を充実させるため、利活用に関する評価・改善を行うことができる		